戸倉中学校・亀尾中学校の再編について

函館市教育委員会

学校再編の目的

少子化による
生徒数の減少

↓

学校の小規模化

- クラス替えができない
- 専門教科外の教員による指導
- 部活動等の種類が限定される

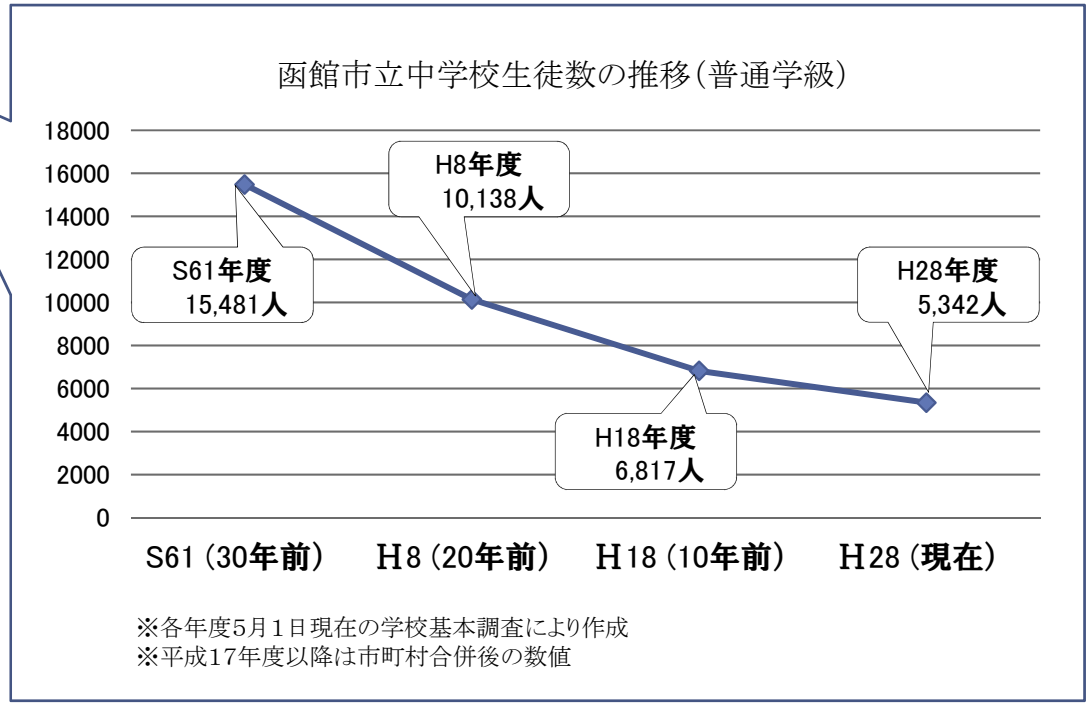
など

↓

より多様な教育活動の展開

より豊かな人間関係の構築

より社会性を育む



望ましい
学校規模の確保
（９～１８学級）

- クラス替えが可能
- 全教科の教員配置が可能
- 主要５教科で複数の教員配置が可能
- 多様な部活動の実施が可能

学校再編の取組経過

H21.3	・函館市立小・中学校の配置についての基本指針の策定（教育委員会議決）
H24.3	・函館市立小・中学校再編計画の策定（教育委員会議決）
H28.7	・再編計画第３期，第４期，随時検討グループについて，検討開始（函館市学校教育審議会へ諮問）
H28.12	・函館市学校教育審議会から亀尾中学校・戸倉中学校の統合について答申

再編後の学校数および統合校の位置

学　校　数

戸倉中・亀尾中の２校を１校にする

統合校の位置

各校の校地面積や学校施設の状況などについても考慮に入れ，次のとおりとする。

戸倉中・亀尾中の統合校の位置 → 戸倉中学校

※旭岡中学校との再編案については，継続審議とする。

再編後の学校規模および教員数の見込み

※通学区域変更実施後

≪普通学級）≫

	統合前（H28.5.1現在）			
	戸倉中		亀尾中	
	学級数	生徒数	学級数	生徒数
1年	4	107	1	1
2年	3	81		6
3年	3	100	1	6
計	10	288	2	13

	統合後（H29～H31推計）					
	H29		H30		H31	
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	児童数
1年	3	100	3	98	3	98
2年	3	107	3	99	3	97
3年	3	87	3	107	3	99
計	9	294	9	304	9	294

教員数	17人	6人

教員数	16人	16人	16人

※教員数は，道の教職員定数配置基準に基づく。　校長，教頭を含み，養護教諭，栄養教諭や加配などは含まない。

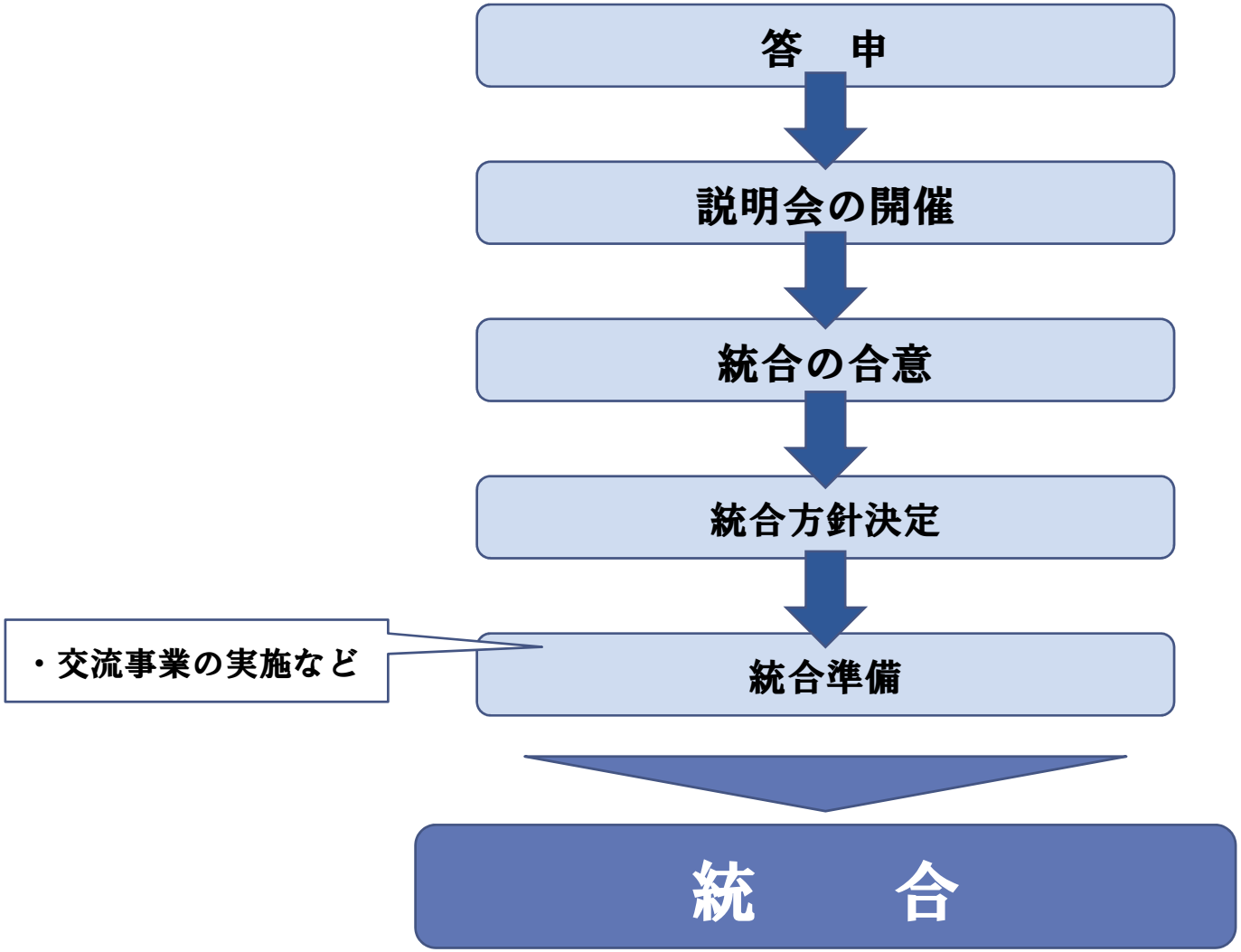
再編前後の中学校通学区域表（案）

町　名	（現　在）	町　名	（再　編　後）
紅葉山町	全町（亀尾中）	紅葉山町	全町（戸倉中）
庵原町	全町（亀尾中）	庵原町	全町（戸倉中）
亀尾町	全町（亀尾中）	亀尾町	全町（戸倉中）
米原町	全町（亀尾中）	米原町	全町（戸倉中）
東畑町	全町（亀尾中）	東畑町	全町（戸倉中）
鉄山町	全町（亀尾中）	鉄山町	全町（戸倉中）
蛾眉野町	全町（亀尾中）	蛾眉野町	全町（戸倉中）

参考：戸倉中学校の通学区域表

町　　名	（現　　在）	（備　　考）
湯川３丁目	全町（戸倉中）	
戸倉町	全町（戸倉中）	
榎本町	全町（戸倉中）	
上野町	全町（戸倉中）	
高丘町	全町（戸倉中）	
滝沢町	５８・５９・９４～９８を除く全町（戸倉中）	※５８・５９・９４～９８（湯川中）
見晴町	全町（戸倉中）	
鈴蘭丘町	６～２２・１１０～１１５（戸倉中）	※１～５（湯川中），２３～１０９（鱒川中）
上湯川町	１～６７番，７番地・７９～８５，１０７～１３８・２０１～２０５・２１０・２１４～２２３・２３７～２３９・２５１・２６２～２６８・２９１～３３０（戸倉中）	※３３１～３７９（旭岡中）
高松町	１２８～１３２・２９５・３０５～３１４・４０５・４３７・４６７～５１４・５１５(1・2)・５１６(5)・５１７(3)～５１９・５６１～５７８（戸倉中）	※１～５・１０５・１４５～２２７・２３６～２６８・３１５～３７５・４０６～４３５・４５１～４５５・４５７・４５８・４６２～４６６・５１５(3)・５１６(1-4)・５１７(1・2)・５２１～５６０（湯川中）
瀬戸川町	１～１２０・１２５（戸倉中），	※１２１～１２４（旭岡中）

通学区域について

●・・・小学校 ●・・中学校 ●・・小中学校 ：戸倉中学校区 ：旭岡中学校区 ：亀尾中学校区 ：各小学校区

統合までの流れ